

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年4月19日（火）

2 調査対象 第3学年生徒14名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を上回っていました。
数学は、全国平均を上回っていました。
理科は、全国平均を上回っていました。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- ICT機器を、勉強のために使っている生徒が多い。
- 2年生の時に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用したかについて、「ほぼ毎日」と答えた生徒が多い。（全国21.6p、本校81.8p）
- 学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用したかについて、「ほぼ毎日」、「週3回以上」と答えた生徒が多い。（全国15.0p、本校63.6p）
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている生徒が多い。
- 理科に対する関心・意欲が高まっている。

課題が見られた項目

- 家で自分で計画を立てて勉強をしているかについて、「よくしている」と答えた生徒が多いが、「全くしていない」と答えた生徒も多い。
- 将来の夢や目標、職業について、具体的なものを持っている生徒が少ない。
- 地域の行事に参加していると答えた生徒が少ない。
- 人が困っているときは、進んで助けているかについて、「どちらかといえば、当てはまらない」と答えた生徒が多い。（全国10.0p、本校36.4p）
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒が少ない。（守っている 全国69p、本校45p）

5 学力向上の取組

今回の調査結果を分析し見えてきた成果や課題を生かして、次のような5つの取組を全職員で推進し、生徒一人一人の学力を向上させるよう指導に当たっていきます。

①スケジュール手帳（フォーサイト手帳）の活用による学習・生活習慣サイクルの確立

- ・スケジュール手帳（フォーサイト手帳）の活用を通して、授業と家庭学習をつなぎ、学習習慣を確立させる取組をさらに推進する。また、手帳を活用することで計画性や見通す力を身に付けさせるだけでなく、生徒の主体性も高めさせる。さらに計画及び実践に対する「振り返り」を重視し、生徒が成長実感を抱き、自己肯定感を高めることができるように支援していく。

②効果的に ICT 機器を活用した授業の推進

- ・ICT機器の活用率が高く、生徒自身も活用している実感が高いという「強み」をさらに強化するために、校内研修会を充実させ、授業における効果的な活用方法を共有化していく。また、ICT機器を家庭学習にも積極的に活用し、ドリル教材を使い定着度を高めることができるよう支援していく。

③読解力を身に付けさせるための、RST（リーディングスキルテスト）を活用した授業改善

- ・課題の見られた「文章の意味を正確に理解する力」を向上させるために、各教科で文章の読み方を明示的に指示したり、教師の意図が伝わるような表現を心がけるなど、RSTの視点を取り入れた授業改善を心がける。

※リーディングスキルテストとは、読解力を数値で表すことができるテストのこと。

④学んだことを「使い、表現する」授業の実践

- ・各教科の授業において、アウトプットの場面を多く設定し、繰り返し行うように指導していく。学んだことを「使い、表現する」アウトプットの授業の実践を重ねることで、生徒一人一人の表現力を高めていく。

⑤「キャリア教育」の視点に立った進路指導の充実

- ・生徒一人一人が自分の個性や適性を理解して、将来の夢や職業を思い描きながら進路を選択していけるように、単発な体験学習にならないよう、学校の教育活動全体を通じて系統的・計画的な取り組みを進めていく。また、キャリアパスポートを活用して、学習や生活の見通しや振り返りを重ねることで、自分自身のよさ、興味・関心など、自己理解を深めさせる。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、以下の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

①基礎学力のさらなる向上のために

- ・フォーサイト手帳を活用しながら計画的な家庭学習を行う。
- ・学習の時間を決め、机に向かう時間を生活リズムに組み入れる

②ICT機器の活用をさらに適切に進めるために

- ・ゲーム・インターネットの時間や携帯電話・スマートフォンの利用は必ずルールを決める。

③読解力を身につけさせるために

- ・新聞や本を読む習慣を身につけさせる。

④活用力を家庭で鍛えるために

- ・家庭の団らん等で今日の出来事などを継続して聞くことで、筋道を立てたり、要点を絞ったりして、話す力を養わせる。

⑤将来の夢や職業について、より具体的に思い描かせるために

- ・地域の行事等に積極的に参加させるなどして、多くの方とのふれあいを大切にする。